

最優秀賞（山口県知事賞）

傾聴ボランティア「ピア山口」

代表者 河合 郁子（福祉分野／宇部市）

活動の動機・目的

高齢社会となり、介護保険の導入で「手段的サポート」はずい分進んできたが、「心理的・情緒的なサポート」までカバーすることはできないし、行政に委ねることも難しい。しかし、世の中には淋しさに耐えて暮らしている高齢者がいかに多いことか……。そんな折、高齢者のお話相手となる傾聴ボランティアを全国に広める活動をしている「ホールファミリーケア協会」の存在を知った。養成講座を別々に受講して、各自で活動していた者3名と一緒に活動を開始。

悩みや寂しさを感じている高齢者のお話を心をこめて聴かせて頂いた時、私たちの関わりそのものを喜んで下さり、結果的に気持ちの元気を取り戻して下さると一層嬉しい。そしてボランティアにとっても新たな生きがいとなる相互扶助の活動となることを目指している。

活動の内容

高齢者福祉施設や在宅高齢者宅で活動。よい聴き方のトレーニングを積んだお話相手として、笑顔で、相手の目線で、話を否定せず、ありのままに聴かせて頂いている。毎回1時間程度の活動。

①施設での活動は、現在、宇部市内4施設、山陽小野田市1施設。

②在宅の高齢者宅での活動

宇部市高齢福祉課、宇部市社会福祉協議会から紹介のあった在宅高齢者宅で活動。まだ認知度が低いボランティアがトラブルに巻き込まれることなく個人宅で活動をするためには、それなりの枠組みづくりが必要。宇部市、宇部市社協と話し合いを重ね、「約束ごと」を作成。

③地域での声掛け。会員の中には、知り合いの高齢者宅を個人的に定期訪問している者もいる。

④研修・研鑽

月に1度の例会で、ホールファミリーケア協会発行の「月刊傾聴ボランティア」や書籍をテキストにして意見交換、活動内容の反省・ピアサポート（メンバー同士によるサポート）、ロールプレイ（役割実演）で傾聴スキルを高めている。

⑤啓発活動

ボランティアの分野では、少数派でパイオニア的な存在。また、「傾聴」という言葉もなじみの薄い言葉なので、これまでに2回、自前の講習会を開催して仲間を募っている。

⑥各地からの講演依頼に講師として出向く。これまでに、山陽小野田市社協、柳井市社協（これを契機に柳井に傾聴ボランティアが誕生）。宇部市社協ボランティア入門講座、阿武町社協等。

これからめざしたいこと

活動の始めやすさ、しやすさということで、これまで施設での活動を主としてきたが、大多数の高齢者は在宅生活なので、徐々に在宅高齢者宅へのシフトを考えている。今のところトラブルもなく、それなりに順調に経過しているが、件数はまだわずか。利用者は私たちの来訪を心待ちにしておられる。私たちの「傾聴」で、心豊かに過ごす高齢者が少しでも増えていくことを願っている。超高齢社会に入り、この活動を次の世代に繋いでいくことも私たちの務めだと思っている。



例会



施設での傾聴ボランティア活動